第14講
中国史（明・永楽帝まで）

〔1〕**モンゴル帝国**〔1206 ~ 1271〕

①**チンギス＝カン（ハン）**（太祖．位1206 ~ 27）

テムジン…民族を統一

クリルタイ（部族会議）の推挙…**チンギス＝カン**の即位（1206）

ナイマン・**ホラズム＝シャー朝**（中央アジア．トルコ系）・**西夏**征服

②**オゴデイ（オゴタイ）（太宗）**

金を征服（1234）

カラコルムに都を定める

バトゥの西征（ヨーロッパ遠征）

・**ワールシュタット**（リーグニッツ）**の戦い**…ドイツ＝ポーランド軍を撃破（1241）

③グユク

④**モンケ**

東方・南方…**クビライ**‥吐蕃（チベット）・大理（雲南）征服　高麗の服属

西方…**フレグ（フラグ）**の西征‥バグダード占領・**アッバース朝**征服（1258)

分裂

チャガタイ＝ハン国

・ティムール（西チャガタイ＝ハン国出身）により統合

キプチャク＝ハン国　都　サライ（南ロシア）

・**バトゥ**が建国

・**モスクワ大公国**の独立（1480．**イヴァン３世**）

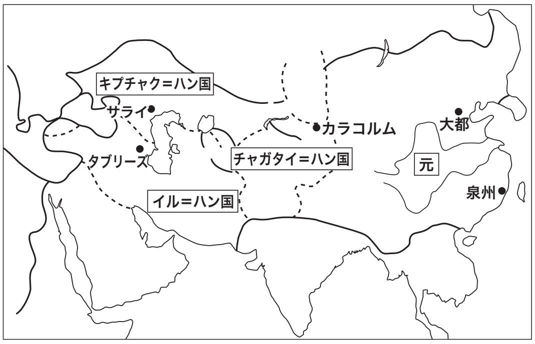
イル＝ハン国　都　タブリーズ（西アジア）

フレグが建国

ガザン＝ハン　イスラーム教の国教化（1295）

・宰相ラシード＝アッディーン（史書『集史』）の登用

ティムールに滅ぶ（14C）



元と３ハン国

⑤**クビライ（フビライ）**　上都で即位

ハイドゥの乱

モンゴル帝国の分裂

〔2〕**元**〔1271 ~ 1368〕　都　**大都**（現．北京）

クビライ

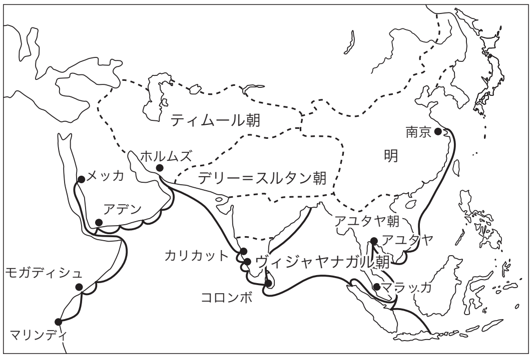
南宋を滅ぼし中国統一（1279．厓山の戦い）

パガン朝（緬．ミャンマー）征服

遠征の失敗地
・日本・ベトナム（陳朝大越）・ジャワ島（シンガサリ朝）
モンゴル人・色目人・漢人・南人
・モンゴル人…政府の重要職と地方行政機関の長を独占
・色目人…西域諸国人で，モンゴル人の次に重用され財政・文化に活躍
・漢人…旧金支配下の住民（契丹・女真・高麗・渤海・漢人）
・南人…旧南宋支配下の住民
士大夫（儒者）**階級を冷遇**
科挙の中断（のち復活）
モンゴル語（公用語）
ウイグル文字・パスパ（パクパ）文字（チベット仏教僧パスパ（パクパ）が作成）の使用（公文書）
・中央…中書省
・地方…行中書省
駅伝制（**ジャムチ**．**站赤**）の発達
牌符（旅行者の証明書）を携帯
海港都市の繁栄　**泉州**（ザイトン）
大運河の修築・新運河建設
滅亡
チベット仏教への盲信
交鈔の濫発　→　経済混乱
紅巾の乱（1351 ~ 1366．白蓮教徒の乱）
・韓山童は白蓮教を指導・韓林児による反乱の指導
・**朱元璋**（反乱軍の武将）…**南京**に**明**建国

〔3〕明〔1368 ~ 1644〕 都　**南京**（**金陵**）　→　北京
①**朱元璋**（**洪武帝**）
江南に建国し，中国全土を統一した唯一の王朝
中書省（宰相）**廃止・六部は皇帝直属**
・**朱子学の官学化**　　　　・**一世一元の制**（皇帝一代に一元号）
・**衛所制**…**軍戸**（兵農一致）
・**里甲制**…村落組織（民戸）
・**魚鱗図冊**（土地台帳）　・**賦役黄冊**（戸籍・租税台帳）の作成
・**六諭**…六ヵ条の儒教道徳による人民教化
・**海禁**
・**朝貢貿易**．**冊封体制**（中国と周辺諸国との君臣関係）
③**永楽帝**（第３代）　都　**北京**への遷都
靖難の役（1399 ~ 1402）
②**建文帝**　VS　燕王の反乱・③永楽帝として即位
・**内閣大学士**の設置・**万里の長城の修築**

・**モンゴル遠征**
・ベトナム（**陳朝大越**）遠征・支配　→　黎朝の独立
・朝鮮（李朝）の属国化
・**鄭和**（イスラーム教徒・宦官）の**南海諸国遠征**



鄭和の遠征路

第 14 講　確認問題

次の文章を一箇所だけ訂正し正しい内容の文にせよ。

1　①クリルタイの決定で即位したテムジンは，モンゴル帝国の太祖チンギス＝カンとなる。ナイマンと，ホラズム＝シャー朝，そして西夏を滅ぼしたが，②金の打倒は息子の太宗オゴデイが実現する。オゴデイは新都③大都を建設した。兄の子バトゥを西征させ，現④ポーランドのワールシュタット（リーグニッツ）の戦いでドイツ諸侯の連合軍を破ったが，オゴデイの死で引き返した。

2　３代目はオゴデイの子①グユク，４代目がトゥルイの子②モンケで，彼は弟のクビライを③大理に，別の弟のフレグを④ウマイヤ朝の首都ダマスクスに遠征させ同王朝を滅ぼした。

3　５代目にクビライが即位するに際し生じた①ハイドゥの乱により，帝国の分裂は決定的になり，中央アジアのチャガタイ＝ハン国，バトゥが②ノルマン人建設のキエフ公国を滅ぼして，サライを首都として建設した③南インドのキプチャク＝ハン国，フレグがアッバース朝を滅ぼして④タブリーズを首都として建設したイル＝ハン国，およびクビライの元（1271 ～ 1368）の４つに分裂した。

4　このうちキプチャク＝ハン国はティムールの遠征により動揺し，その結果分裂，さらにはモスクワ大公国が自立しロシア史がスタートする。イル＝ハン国は①ウズベク＝ハンがイスラームに改宗，そのイラン人宰相②ラシード＝アッディーンが『集史』を編んだ。また同王朝において③イラン・イスラーム文化が開花した。が結局④ティムール帝国により滅亡した。

5　明の太祖洪武帝は一世一元の制を開始，中央集権体制つまり親政体制を確立した。①門下省を廃止し六部を皇帝直属とした。兵制は②衛所制，③朱子学を官学化し，明律・明令を制定した。④魚鱗図冊を土地台帳，賦役黄冊を戸籍・租税台帳として財政を確保した。

6　２代目建文帝は洪武帝の孫であるが，かれの封土削減政策に対して燕王朱棣が蜂起し勝利を収め（①靖難の役　1399～1402），北京に遷都し３代目②永楽帝となった。彼が③南京に築いたのが④紫禁城である。

7　永楽帝は①モンゴルに５回親征した。また宦官②鄭和を遠くアフリカ③西岸マリンディまで派遣し朝貢を促進した。④内閣大学士を設置し親政を補佐する体制をつくりあげた。永楽帝の死後，宦官が台頭し政治は混乱した。

解答

1　③→カラコルム　　2　④→アッバース朝　　3　③→南ロシア

4　①→ガザン＝ハン　　5　①→中書省　　6　③→北京　　7　③→東岸